



# アルミ製コンロッドの 専業メーカー

## 日本ワヅコ株式会社

### 「復元性(真円度)」「高強度」 オンリーワンに

汎用エンジンや船外機エンジン、空調・冷凍コンプレッサー等の動力には欠かすことのできない主要部品「コネクティングロッド(通称コンロッド)」。

これを、鉄ではなくアルミに特化して製造しているのが日本ワヅコだ。アルミ製コンロッドの専業メーカーは、日本では同社だけ。世界的にも希少だと木下浩伸社長は言う。

「アルミは加工しやすく軽いため、エンジンの小型化や低振動化に大きく貢献する素材。一方で、ひずみやすい、曲がりやすいという側面があります。これをできるだけ少なくし、精巧なコンロッドを作る技術が、当社の最大のウリです」。



みつける。このとき大きな問題となるのが、大端部の「復元性(真円度)」。

組みつけのとき、アルミが変形して復元性が悪くなると、異音や内径面の焼付きといったトラブルが起きる。アルミ製コンロッドにとって、復元性は命なのだ。

同社は80余年にもおよぶ長い経験の積み上げと、オリジナルの専用設備を整え、高品質なコンロッドを量産できる体制を整えている。中でもポイントとなっているのが、コンロッドを加工するための治具。いかにひずみがでないようにクランプするか、そのためにコンロッドのどの部分を、どの程度の力でクランプするかは、長年のアルミコンロッドの専業メーカーとしての経験とノウハウが活かされている。その技術は、多工程を1台でこなすコンロッド全加工専用機等に引き継がれている。

### 軽量で燃費効率に優れた アルミの利点を活かして

コンロッドは従来、発電機や田植え機等の汎用エンジンに用いられてきた。その状況は今も変わらないが、今後有望視されているのが船舶用エンジン。環境保全意識の高まる中、船舶エンジンは2ストロークから4ストロークへと移行が進んでおり、排ガス規制をクリアし、軽量・低振動の4ストロークエンジンにするためには、高品質なアルミ製コンロッドが不可欠となるのだ。現在、空調冷凍用コンプレッサーへの需要は減りつつあるが、船舶分野でのニーズは上向き。環境、軽量、省資源というキーワードが広

がれば広がるほど、同社製コンロッドの価値は増す。

老舗メーカーでありながらもチャレンジ精神旺盛な同社。現在開発中の位置決め技術が実現すれば、加工時間を6分の1に短縮でき、復元性も今以上に向上できる。また、工業用だけでなく、レースカーやプレミアカーのコンロッド試作にも意欲的だ。「レース用の車にうちのコンロッドが使われるなんて、かっこいいじゃないですか」と木下社長は笑う。技術開発や新市場開拓等、新しいことにも挑み続けている。

#### 主な事業内容

各種動力用アルミ合金製コネクティングロッドの製造・販売等



木下浩伸さん  
代表取締役

#### Company Profile

日本ワヅコ株式会社

住所 / 〒544-0002  
大阪府大阪市生野区小路3-6-2

創業 / 大正15年8月

設立 / 昭和3年2月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 74名 (平成21年1月現在)

T E L / 06-6751-0636

F A X / 06-6751-0639

ISO 9001

<http://www.wico.jp/>